

パソコンはシニアの最高のおもちゃ！？



母校が長野県の関東地区の高校の同期会総会が先月、都内で開催されました。今月は中学校の同年会が郷里の長野県で開催されます。この歳になるとお互いの体調や生活状況が反映され、高校はこれまで年4回あった全体の集いが今後3回に減少することになりました。また中学校の同年会幹事から送られてきた案内状には次のような文言がありました。

「戦後72年——戦中戦後、辛酸の日々を過ごしてきた友と喜寿のお祝いをしたいと思えます。会えば、医者通り、体力の衰えの話ばかりで、これからは毎年の開催も難しくなるかもしれません……」(趣意)

高齢化で活動が減少する流れのなかで、仲間の潤滑油になっているのが高校のメール網です。事情に詳しい発案者がメール管理人も引き受け、さまざまな企画も打ち出し、同期中間のパソコン生活と人生を豊にしてくれています。



メール網には関東地区を中心に母校のある伊那市近辺、関西や中京方面の60人あまりが登録されています。そしてメール上では、会の行事の連絡報告を初め、サークルの活動案内や季節の写真、紀行文、論文等、多種多様な情報が行き交っています。

とりわけ目玉企画は週1回、あいうえお順(ときにその逆の順番)で発信される仲間のメールリレーでしょう。8年ほど前、各人の近況報告から始まったこのシリーズは、管理人の用意周到な企画力で「私の夢、希望、目標」「故郷の伊那や母校在学中の思い出」「母校卒業～現役～現在までの思い出」「家族の絆～夫婦を中心に～」 「健康長寿を目指そう～食事～」続いて翌年は「～運動～」と毎年、新しいテーマが提案され、それぞれが自分の体験や思いを書いています。数ページにおよぶ原稿を添付する人や、短いメール本文だけで報告の人もいますが、赤裸々な私生活を紹介する人もいて時には感動し、同じ時代を生きた仲間の思いに共感したり、思わぬ知恵や情報を得たり刺激にもなっています。



今年度のテーマは「健康長寿」の3年目「生きがい～日々の楽しみなど～」となっています。さらにその後には「東京五輪の思い出と夢」などが提案され、時代と人生の流れに沿って書きやすいし、読む人の参考にもなるでしょう。

遠くに出るのもおっくうになりかけた、喜寿を超えた仲間に豊かな心の栄養や刺激を届けてくれます。「パソコンはシニアの最高のおもちゃ」との声もあります。こんなよいものを他のグループでも研究、試みてはどうかと、この欄で取り上げてみた次第です。



もっとも、運営の要となるメール管理人の労力は大変なもので、そうした人材がいることが不可欠かもしれません。振り返って、自分たちのグループは本当に恵まれていて、管理人またメール仲間に感謝しているところです。

(下の写真は私がメール網の記事やホームページのなかで紹介した写真の一部です)

